

菊池謙二郎 きくち けんじろう 教育家、水戸學研究者。慶應二年一月十九日常陸國水戸生れ、昭和二十年二月二日歿（八七歳）（一九五七）。號沁湖。明治十七年東京大學豫備門を受験、この時の及第は正岡子規との二人而已。

（二十）年帝國大學文科大學國史學科（第一期）卒。この年子規等と舊好會を興し、夏は漱石、米山深三郎と日光へ遊ぶ。翌年山口高等中學校教員兼舎監となり、漱石の同校就職を再三勧誘。その後岡山縣津山尋常中學校校長、千葉縣尋常中學校校長を経て、（二十一）年第一高等中學校校長就任。（二十四）年上海の東亞同文書院教員兼舎監として渡清、二十六年南京の二江師範學堂日本總教習兼兩江學務處參議を務め、二十九年歸國。爾後水戸市教育會會長、水戸中學校校長、水城縣立圖書館長等歴任、大正八年歐米視察、十五年衆議院議員。

著書に、『藤田東湖傳』（明治二十一年九月）二十七年金港堂書籍株式會社）、『國民道德と個人道德』（大正十年二月八日國策研究會、新光

社發賣）、『常陸雜話』（解説、

藤田東湖著、昭和七年八月二

十）『水戸縣教育會』（口述

谷全集）（編、藤田幽谷著、

昭和十年六月）二十五日吉田彌

平刊）、『正氣歌と回天詩』

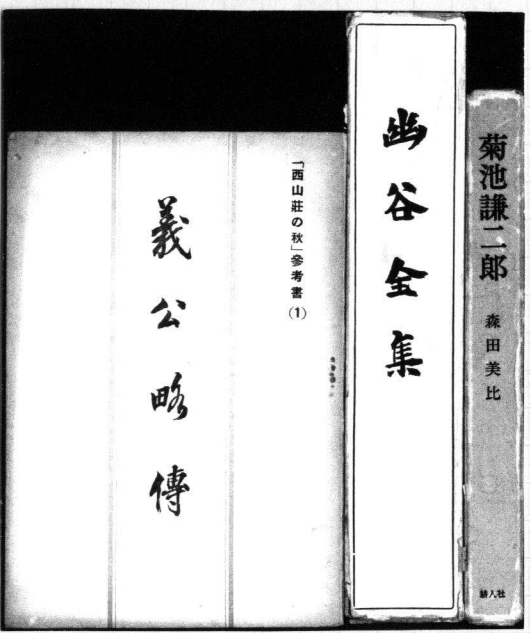
（昭和十一年二月五日章華社、



増補訂正版

・十七年十一月二十日小川書房）、『義公略傳』（訂

正版・昭和十四年二月）二十五日水城・弘文社）『西



山莊の秋」参考書」(等。森田美比^{みひ}著 日新池澤^{いけ}郎) (昭和五十二年
九月十日茨城・耕人社)刊。